平成30年1月20日発行（毎月1回20日発行）

ふるさとへの思いと絆をつなぐ広報誌

1 2018 January No.80 ふるさとだより

久之浜・大久、四倉、平、小名浜、勿来

北風に負けるな、大浦っ子！ 健脚を競った持久走記録会

表紙からMessage

大浦小の校内持久走記録会は、インフルエンザの影響で、12月1日と14日の2回に分けて行われました。この日に向けて体育の授業のほか休み時間も返上で練習を重ねてきた児童たちは、冷たい北風が吹くなか、保護者の声援を受けながら、昨年よりも上の順位を目指して力走しました。

各地区トピックス

久之浜-大久地区成人式

平 しめ縄づくりを伝承

郷土料理実習体験

勿来 サロン祭り＆ダンス発表

ふるさとだよりの記事が動画で!!

マークのある記事にスマホやタブレットをかざすと動画が見られます!（見方はP8）

地域とともに生きる

久之浜・大久地区
成人式実行委員長
阿野田 ひなの さん

震災から約7年。20歳になって思うこと

震災が起きたのは私が中学1年生の時でした。あれから約7年が経ち、20歳になりました。今年から成人式は、式典や記念行事の進行すべてが実行委員に任されました。大変でしたが良い経験になったと感じています。

今、美容師になるために猛勉強中です。将来、美容関係の指導者となり、生活面では両親を支えていける存在になりたいと考えています。そして、私が生まれ育った久之浜の1日も早い復興を願い、震災前よりも素敵な町になってほしいと思います。

式典後、恩師と共に中学時代の給食人気メニューの昼食を食べる阿野田さんら新成人

ふるさとの未来へ向けて

観光振興と活性化へ要望書提出

昨年2月、国道6号久之浜バイパスが全線開通しました。その後、波立海岸や市街地方面への分岐点が分かりにくいとの声が多く、道路標識などの設置が望まれていました。

そこで、11月29日、久之浜・大久地区復興対策協議会役員が市観光交流室、県小名浜港湾建設事務所を訪れ、観光振興と市街地活性化に向けた要望書を提出しました。

道路標識などの整備で、被災地視察者の町内へのスムーズな誘導や、波立海岸、いわき海浜自然の家などへの観光客の利便性向上にも期待が膨らみます。

12月26日、国土交通省磐城国道事務所で要望書を提出する木田寿夫会長（写真左）

私たちのふるさとへの願い

佐藤さん、飯高さん、鈴木さん

佐藤さん、船山さん

成人式実行委員のみなさん

久之浜・大久ピックアップ

金ヶ沢集会所、使用開始

震災で津波により流失した金ヶ沢集会所が、このたび、金ヶ沢字戸ノ入26番地（見渡神社の隣）に新しく整備され、1月15日より使用開始となりました。

移転再建された金ヶ沢集会所

サンタからのプレゼント

12月10日、久之浜町商工会青年部が「サンタが街にやってくる」と題したクリスマスイベントを実施し、子どもたちは笑顔でプレゼントを受け取っていました。

浜風きららでのプレゼント配布

4年越し、8回目の桜植樹

12月9日、静岡県三島市のチーム桜龍in久之浜による桜植樹が行われました。これまでに計500本の桜が地区内施設に植樹されたほか、個人宅にも贈られました。

市営久之浜東団地での植樹の様子

地域とともに生きる

かわらぶき工
阿部 藤男さん

新しい技術で後進の育成を

東京で修行後、23歳の時に地元いわきへ帰郷、家業のかわらぶき工を継ぎました。この道に入って今年で39年になります。震災後2~3年は、屋根の修繕の依頼が殺到しましたが、今は落ち着き、新築住宅の仕事が増えてきました。

鎌軒瓦を葺く際に、熟練した職人にしかできないような技術があるんですが、工夫をして若い職人でも簡単で綺麗に仕上げるやり方を自ら考案しました。これを評価していただいて、このたび、いわき市技能功労者の表彰を受けました。地域の同業のみなさんに助けられて今の私があるので、今後も後進の育成に努めたいと思います。

地元四倉町の住宅の屋根で作業をする阿部さん

ふるさとの未来へ向けて

新町地区で住民支え合い活動

四倉町新町地区では、平成23年1月に結成された高齢者見守り隊に続き、27年5月に、地区協議体「新町笑顔の会」が設立。地区の高齢者が生活のなかで抱える課題を踏まえて、支え合い活動が始まりました。

対象は、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯。地区住民ボランティアなど27名の「新町サポーターズ」が、声かけ、ゴミ出し、薬の飲み忘れチェックなどニーズに合った活動をしています。公平和俊会長は「今後もできる範囲でみなさんの要望に応えていきたい」と話しています。

利用者の自宅で、薬の飲み忘れをチェックするサポーター（写真左）

私たちのふるさとへの願い

四倉町商工会青年部　根本貴弘さん

四倉第一幼稚園PTAのみなさん

四倉ピックアップ

おやこもちつき会

12月27日、四倉公民館で「おやこもちつき会」が行われました。参加者は昔ながらの杵と臼を使ってもちつきをして、つきたてのもちを味わいました。

きなこもちや雑煮を味わう参加者

賑わいをみせた仲町慕市

12月26日、仲町商栄会で年末恒例の暮市が開かれ、会場の商店街では野菜、しめ縄飾りなどの正月用品の販売やくじ引き、「餅つき大会」が行われました。

力を合わせてもちをつく来場者

ふくまるクリスマス会

12月23・24日、チャイルドハウスふくまるのクリスマス会が開催。23日は、NPO Power of JAPANのスタッフやボランティアがサンタクロースに扮して来館しました。

サンタクロースと一緒に記念撮影

ふるさとの未来へ向けて

豊間公民館市民講座で学びながら地域を再認識

豊間公民館市民講座「もっと『とよま』を知ろう！」と題した全3回の市民講座では歴史、文化を学び、最終回の11月30日に豊間、薄磯、沼ノ内の津波被災地を巡るスタディツアーを行いました。沼ノ内漁港の賑わいや豊間、薄磯の復興の様子を視察しました。

活気ある漁港の様子に参加者から驚きの声もあがった沼ノ内漁港の視察

復興の象徴でもある豊間海岸「海をみる」像を視察する参加者

地域とともに生きる

海まち・とよま市民会議
会長
瀬谷 貢一 さん

海まち・とよま市民会議の歩み

海まち・とよま市民会議は、平成25年秋に、豊間3地区の復興を目指してスタートしました。これまで「若い世代が戻ってこられるまちづくり」を掲げたグランドデザインを作成し、市長へ要望書を提出したり、旧豊間中学校体育館・校舎のお別れ会や「とよま学入門」の発行などの活動を行ってきました。

今後も豊間3地区にたくさんの子どもたちの声が響き渡ることを目指していますので、若い世代の方の意見や要望を積極的に取り入れていきたいと考えています。ぜひ、市民会議に参加してください。

薄磯を訪れた学生たちに、震災講話を行う瀬谷さん

私たちのふるさとへの願い

沼ノ内　望月さん親子

豊間　橋本和彦さん

平ピックアップ

薄磯の初日の出

1月1日、昨年完成した薄磯多目的広場には、大勢の人たちが集まりました。雲の合間から太陽が顔を覗かせると、銘々に手を合わせ1年の幸を祈りました。

海から昇るご来光を拝む人々

しめ縄づくりの伝承

12月23日、豊間南集会所でしめ縄作りが行われました。豊間区神社総代が大しめ縄を作り、子どもたちは、輪（たが）しめ縄を教わりながら作り、伝統文化に触れました。

輪しめ縄を作る子どもたち

修学旅行で被災地学習

12月6日、薄磯の東日本大震災慰霊碑に長崎県立佐世保南高等学校の2年生213名が修学旅行で訪れ、全員で作った折り鶴の旗を納めて黙とうを捧げました。

折り鶴で作った旗を掲げる生徒

地域とともに生きる

中之作水産加工業協同組合
代表理事　組合長
吉田　喜昭さん

地域の活気と賑わいを取り戻したい

中之作魚市場の1階にあった組合の事務所は津波で流され、江ノ浦にある私の加工場も甚大な被害を受けました。同時に風評という大きな問題が発生。一時は大変な思いをしましたが、風評払拭のため、私たちが製造する商品を地域の方々に知ってもらおうと始めたのが、年2回の中之作朝市です。

また、中之作港で水揚げされたカツオを使ったオリジナル商品を開発し、平成26年から販売を始めました。今後も、次に続く商品を考えて中之作をPRし、地域の賑わいを取り戻したいです。

12月16日に行われた中之作朝市で、オリジナル商品「かつおの揚げびたし」や冷凍の干物各種を販売する吉田さん(左)

ふるさとの未来へ向けて

「神白川水門」の完成

平成26年から、津波高潮対策のため新設工事が進められていた神白川河口の水門が完成しました。12月7日に現場見学会が行われ、近隣住民約30名と海星高生60名が参加。県いわき建設事務所職員による水門整備概要の説明後、水門やゲートの動作状況、建屋内の見学が行われました。

河口部から見た、完成した神白川水門

建屋内を見学する地元住民と海星高生

私たちのふるさとへの願い

江名フラサークルのみなさん

永崎保育所所長　小湊孝子さん

小名浜ピックアップ

賑わう中之作朝市

12月16日、中之作魚市場で「第12回中之作朝市」が開催。水産加工品などを中心に、人気のマグロの切落しを求め、開店前から列を作る大勢の買い物客で賑わいました。

活気あふれる朝市の様子

サンマのポーポー焼き実習

12月5日、江名女性の会が、江名小で第2回郷土料理実習体験教室を開きました。6年生17名は、サンマの三枚おろしなどに挑戦し、ポーポー焼きを作りました。

サンマのおろし方を教わる児童

昔遊びの楽しさを伝える

11月28日、永崎女性の会による「昔遊び」が永崎小で行われ、総合学習の一環として同校3年生が体験。おはじき・あやとり・お手玉など全8種の遊び方を教わりました。

見よう見まねであやとりに挑戦

地域とともに生きる

鮫川河川敷公園管理運営協議会会長
斉藤 隆さん

公園がみんなの「憩いの場」であるために

震災では、津波により芝生に海砂が堆積したほか、設置してあったコンテナが流され、遊歩道が陥没するなど、鮫川河川敷公園も大きな被害を受けました。建設業を営んでいる私は、会社の重機を使い、地元住民や企業などにも協力いただきながら修復作業を進めましたが、3年はかかりましたね。勿来の夏の恒例イベントである花火大会はもちろん、今では双葉郡のみなさんにも利用されるなど、公園が大勢の方の「憩いの場」となっています。

これからも地元のみんなで力を合わせ、美しい公園を保っていきたいです。

12月2日には、園内のパークゴルフ場で同協議会主催の大会を実施し、斉藤さん（手前）も参加（P7に関連記事）

ふるさとの未来へ向けて

イベントの実施を控えて内容を最終確認

2つのイベントの実施に向けて真剣に協議

12月4日、勿来と双葉の共生コミュニティデザイン事業が、吹風殿で実施されました。

今回は主に、1月21日に実施予定の「かるたんか交流会」および「復興応援バスツアー」について協議されました。まず、応募作品のなかから選ばれた、読み札となる20首の短歌が発表され、両イベント当日の役割分担やタイムスケジュールなどの確認が行われました。

なお、1月21日のイベントの様子は、次号の「ふるさとだより」に掲載予定です。

私たちのふるさとへの願い

岩間町　齊藤健一さん

市パークゴルフ協会会長 林治生（はるお）さん

勿来ピックアップ

みんなで一緒に映画鑑賞

12月27日、市立図書館主催の「冬休み子ども映画会」が、植田公民館講堂で開催されました。「花さか爺さん」など5本のアニメ映画が上映され、124名が集まりました。

アニメを夢中で鑑賞する子どもたち

なこそ交流スペースに別れ

これまで、佐糠町のなこそ交流スペースで活動を続けてきた岩間町サロン。1月から岩間集会所へ移転となり、12月5日には交流スペースの大掃除が行われました。

サロン参加者とスタッフで記念撮影

活動の成果をお披露目

12月2日、「サロン祭り&ダンスワークショップ発表会」が勿来市民会館で開かれ、サロン活動での作品展示や、勿来二小5年生など5チームによるダンスが披露されました。

門松作りなどの体験コーナーも設置

ふるさとダイアリー

平　収穫祭と酉小屋づくり

12月16日、豊間地区の「田んぼの学校」で借用している田では、「とーちゃんの会」の協力で、16年振りに酉小屋を復活させました。

また、豊間団地集会所では「田んぼの学校収穫祭」が行われ、今まで参加してきた子どもたちや関係者が餅つきをして、収穫を祝いました。

50名が参加した酉小屋づくり

収穫を祝い、子どもたちも餅つき

小名浜　上手にできた生活発表会

12月1日は江名幼稚園、9日は永崎保育所で生活発表会が行われました。園児たちは、歌やダンス、劇、お遊戯など、今までの練習の成果を披露。子どもたちの成長した姿に、保護者席から、たくさんの温かい拍手が送られました。

言語劇を演じたそら組の園児

ダンスを披露したきりん組女児

勿来　新コースの供用を開始

12月2日、鮫川河川敷公園「コミュニティ交流広場」が完成し、同広場内のパークゴルフ場に新設された1コースの供用が開始されました。同日は、記念式典および「浜通り交流パークゴルフ大会2017」を実施。市パークゴルフ協会員や双葉郡からのプレイヤーも参加し、入賞を狙いました。

式典で行われたテープカット

新たなコースを楽しむ参加者

四　倉　三宝保育園おゆうぎ会

12月2日、三宝保育園で「おうゆぎ会」が開かれ、135名の園児たちが合唱や劇などを発表。会場の保護者は、わが子の姿を熱心に写真等に収めていました。

ピアニカを演奏するさつき組

四倉保育所お遊戯会

ゆうぎを披露するうめ組

12月2日、四倉保育所で開かれた「お遊戯会」では、89名の園児たちがちょっぴり緊張しながらも、これまで練習してきた合唱やオペレッタ、言語劇などを発表しました。

四倉第一幼稚園生活発表会

12月3日、四倉第一幼稚園で生活発表会が行われ、43名の園児たちはダンス、音楽劇、合奏などを一生懸命に披露。客席の保護者は、わが子の成長に目を細めて見ていました。

ばら組が演じた浦島太郎

久之浜・大久　寒さに負けない浜っ子たち

11月17日には久之浜二小、12月1日には久之浜一小で持久走大会が開かれました。12月3日、第27回浜っ子大会が開催。浜っ子たちは寒空の下でも、とても元気でした。

トラックを駆ける児童

公道のコースを力走

順番にみんなで餅つき

●発行:いわき市 ●編集:有限会社 いまぁじゅ ふるさとだより編集室
●編集室:〒973-8411 福島県いわき市小島町3丁目3-3 プリンセス・アイ1F
Tel&Fax:0246-26-5157
Mail:furusato@asally.co.jp http://www.furusatodayori.com

お知らせ

津波災害時における自動車避難検討部会 自動車避難訓練を振り返る

11月28日、国や県、市などで構成される「津波災害時における自動車避難検討部会」の5回目となる会議が、市文化センターで開かれました。

9月24日に実施した市総合防災訓練の際に、藤間・下高久・神谷作・沼ノ内の4地区を対象に行った自動車避難訓練について協議。訓練時に参加者へ行ったアンケート結果の報告や、今回の訓練をふまえた今後の課題などについて話し合われました。

◆自動車避難訓練をふまえての結果(一部抜粋)

【自動車避難訓練参加車両:25台(参加者:43名)】

・事前に津波ハザードマップを確認した人が約6割と認知度が高く、提供した情報が活用されていた。

・浸水想定区域から出るため、日頃から複数の避難経路を知っておく必要があるという意見があった。

【問い合わせ】
市危機管理課　☎0246-22-7551

ふるさと伝言板

空き家と住まいの相談会

日時／2月10日(土)
10:00～13:00
場所／いわき芸術文化交流館アリオス 大リハーサル室

◆事前予約制

【問い合わせ】市住まい政策課
☎0246-22-1178

いわき空き家バンクセミナー

日時／2月10日(土)
13:30～16:00
場所／いわき芸術文化交流館アリオス 小劇場

◆事前予約制(1月26日(金)締切・定員160名)

【問い合わせ】NPO法人いわき住まい情報センター
☎0246-84-5341

中之作つるし雛飾りまつり

日時／2月3日(土)～5日(月)
10:00～16:00
場所／中之作「清航館」

住まいと暮らしの再建相談会

日時／2月24日(土)
①10:00 ②13:00
③15:00 (各90分程度)
場所／中央台公民館 大会議室(1)(2)
定員／9組(各時間3組)

◆お申し込みは開催日の3日前まで

【問い合わせ】市ふるさと再生課
☎0246-22-7437

「ふるさとだより」の事業終了について

永らくご愛読いただいてきました「ふるさとだより」は、本年度末（平成30年3月）をもって終了とさせていただくことといたしました。

なお、今後も引き続き、市公式HPなどを通じて、津波被災地域の情報を発信していきます。

【問い合わせ】市地域振興課　☎0246-22-7414

ふるさとPICK UP

「いわき若者会議2017」を東京で開催

12月10日(日)、東京都千代田区のヤフー㈱内コワーキングスペース「LODGE」において、「いわき若者会議2017」が開催されました。これは、学生と市内企業が意見交換や交流を行い、いわきで働くことを考えるきっかけとするもの。

第1部では学生と企業のコミュニケーションを図る「いわきシミュレーションゲーム」を実施。これは、いわきで暮らし働くことをゲームを通して模擬体験を行うもの。第2部の座談会では、市内10社の若手社員や起業家に対し、学生から活発な質問が飛び交いました。実行委員長の渡辺亮太さん(法政大3年)は「参加者から『有意義な話しが聞けて良かった』という声もあり、ほっとしています」と話していました。

楽しみながら学生と企業が交流を深めたボードゲーム

いわき市出身の学生など約30名が参加。実行委員はすべて学生

担当記者が振り返る「ふるさとだより」のあゆみ

～平成27年度:平地区担当　志賀新～

津波で被災した豊間中学校旧校舎の解体がこの年に決定。4月に海まち・とよま市民会議主催で旧豊間中校舎の一般公開をしたり、11月には新校舎の起工式が行われ、地域にとって学校を中心に大きく変動した年でした。豊間、薄磯、沼ノ内の3地区はそれぞれの良さがあり、さらに、「学校」という絆で強く結ばれた良い地域であることを実感しました。

次号では小名浜地区担当者が語ります。

平成27年度6月号の表紙

旧校舎一般公開の様子

動画の見方

①アプリをダウンロード

Download on the App Store
GET IT ON Google Play

②アプリを立ち上げ、パンダマークのある写真にスマホをかざす。
③自動的にスキャンが始まる。
④認識されたら、動画を再生。

※画像に光が反射しないようにスキャンしてください！